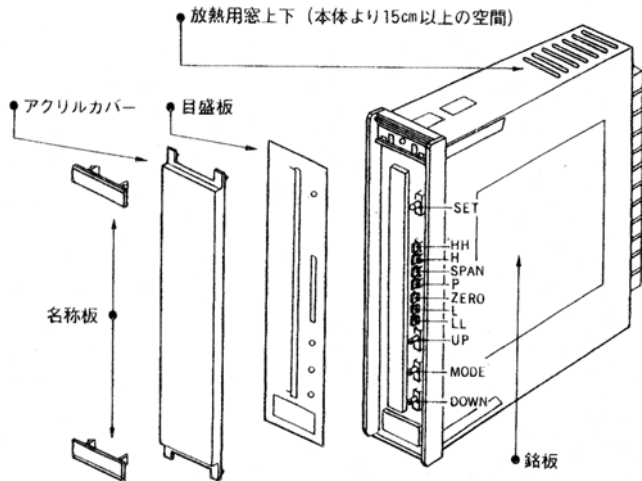


# 取扱説明書 (デジタル表示付)

## 各部名称

「注意」設定無の場合は HH, LL, H, L の設定用ランプがありません。  
 「注意」2点設定の場合は HH, LL の設定用ランプがありません。



### 1. スケールリング機能

デジタル表示のゼロ、スパンを自由に変更し設定することができます。また感度変更が必要なら入力信号を入力してゼロ、スパンを設定することもできます。パーグラフ表示のゼロ、スパンは固定です。

### 2. スケールオーバー表示

入力信号が最大入力値から約 10%以上になると「Hi」が表示され点滅します。また入力信号が最小入力値から約 10%以下になると「Lo」が表示され点滅します。

### 3. 上限、下限設定

各設定値はゼロ設定値とスパン設定値の範囲内に設定することができます。ゼロ設定値とスパン設定値の範囲外では設定はオフとなります。但し HH 設定値  $\geq$  H 設定値 H 設定値  $\geq$  L 設定値 L 設定値  $\geq$  LL 設定値となるようにしか設定できません。

### 4. サンプリングデータの移動平均回数の設定

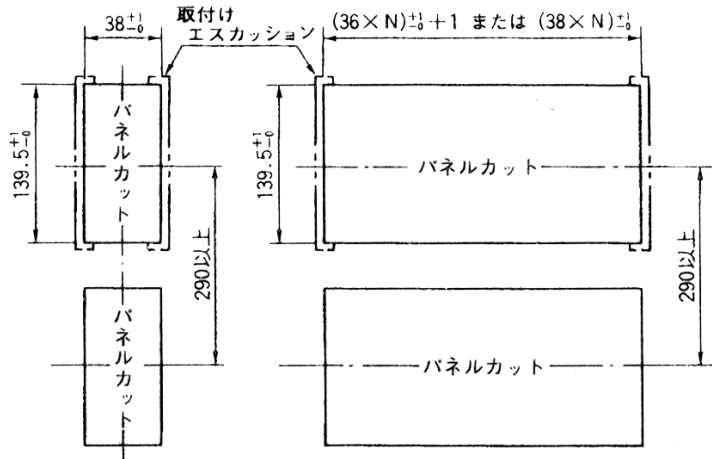
サンプリングデータの移動平均回数を 1, 2, 4, 8, 16 回の中から選定できます。

### 5. 上限、下限警報出力 ON デレイ

各警報が ON となってからリレーが ON となるまでの時間を 1 秒間隔で 0~15 秒の範囲に設定できます。この機能は上上限、下下限も設定可能です。

### 6. 上限・下限の出力のヒステリシス

警報が ON から OFF となる際にスパン設定値の 1%のヒステリシスを持っています。



### 取付エスカッション必要数

単体取付の場合は本体側に各 1 個。横密着取付の場合は間に各 1 個とパネル穴左右両側に各 1 個

### 本体の取付方法

エスカッションはケース内ポケットに一对一ついています。取付方法は、エスカッション上下を図示のように内側からはめ込んでください。



- 付属の取付けエスカッション 2 ヶを計器本体の左右に上図のようにセットします。
- 計器本体をパネル穴にさし込みます。
- 上下の名称板を引き外すと上下に取付けねじがあります。プラスドライバーでねじを時計方向にまわすと固定金具が立らあがってパネルをしめつけます。本体がしっかりと固定するまでまわしてください。

- ねじを反時計方向にまわすと固定金具がはずれて計器本体をパネルから取り外せます。

## 結線

### 結線上の注意

#### 1. 結線用電線

- 入力信号線には計測用シールドケーブルをご仕様ください。
- AC100/200V 電源線には JIC C3307 600V ビニル絶縁線 (IV 線) をご使用ください。

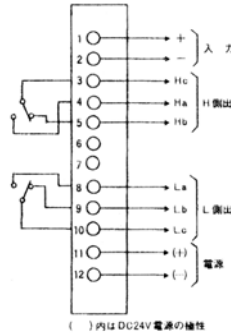
#### 2. 入力信号線と動力線

- 入力信号線と動力線間の距離は 50 cm 以上とってください。
- 入力信号線と動力線を束ねないでください。
- 入力信号線と動力線を同一コンジットに通さないでください。
- 入力信号線は電源、動力および負荷ラインからできるだけ離してください、
- パネル内でも (1) (2) (3) (4) を守ってください。

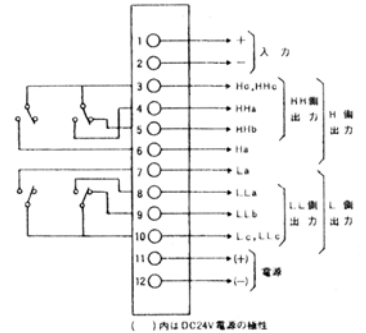
#### 3. 結線

- 圧着端子は端子ねじ M3 ねじに適合するものを使用してください。

### 2点設定付



### 4点設定付



尚、設定無の場合は上記結線図の入力と電源のみの使用となります。

## 仕様

a) サンプリング速度	80ms
b) デジタル表示分解能	1/2000
c) 表示速度	80ms
d) 表示範囲	-1999~9999
e) 移動平均設定範囲	1, 2, 3, 4, 8, 16 回
f) リレー出力 ON デレイ設定範囲	0~15 秒

㊦ 製品出荷時は移動平均設定は 4 回に、出力デレイ設定は 0 秒に設定されています。

## 設定方法

### a) ゼロ・スパン、下下限、下限、上限、上上限の設定

「M」キーでゼロ (Z)、スパン (S)、下下限 (LL)、下限 (L)、上限 (H) または上上限 (HH) の LED を点滅させモードを選択します。このとき設定値が表示されるので、「▲」キー、「▼」キーで表示されている値を変更して設定したい値にします。設定したい値になったところで「SET」キーを押すと設定値が記憶され LED が消灯します。「SET」キーを押さないと設定値の記憶は行われないので注意してください。ゼロ設定、スパン設定を変更すると下下限、下限、上限、上上限の設定はオフになります。下下限、下限、上限、上上限の設定を行う場合は先にゼロ、スパンの設定をしてください。

### b) 入力信号のゼロ、スパンの設定 (感度調整) - 入力端子から基準入力を入力して行って下さい。(感度は工場出荷時、調整済みです。)

ゼロ設定またはスパン設定のときに「▲」キーと「▼」キーを同時に押してください。LED の点滅が止まり、入力信号のゼロ、スパンが設定できるモードになります。ゼロ設定のときには入力信号のゼロが、スパン設定のときには入力信号のスパンがデジタル表示のゼロ、スパンとともに記憶されます。

### c) 小数点の位置の設定

「M」キーで小数点 (P) の LED を点滅させ、「▲」キーと「▼」キーで小数点を表示させたい位置に表示させます。「SET」キーを押すと LED が消灯して、小数点の位置が記憶されます。

### d) 移動平均の回数の設定

「M」キーで小数点 (P) の LED を点滅させます。次に、「▲」キーと「▼」キーを同時に押すと移動平均の回数の設定のモードとなり、そのときに設定されている移動平均の回数が表示され、左端には「A」が表示されます。「▲」キーと「▼」キーで表示されている値を変更して設定したい値にします。設定させたい値になったら「SET」キーを押します。LED が消灯して、移動平均の回数が記憶されます。

### e) 上限、下限警報出力 ON デレイの設定

「M」キーで ON デレイを設定したい上限、または下限の設定モードにします。次に、「▲」キーと「▼」キーを同時に押すと ON デレイの設定モードとなり、そのときに設定されている値が秒単位で表示され、左端には「d」が表示されます。「▲」キーと「▼」キーで表示されている値を変更して設定したい値にします。設定させたい値になったら「SET」キーを押します。LED が消灯し設定値が記憶されます。